

平成 28 年度 熊本市立飽田東小学校プール開放についての取り組み

1 プール開放期間

- (1) 開放期間 平成 28 年 8 月 1 日 (月) ~ 8 月 5 日 (金) (土日祝日を除く)
(2) 開放時間 午前 09 時 35 分 ~ 10 時 30 分 (第 1 回)
午前 11 時 15 分 ~ 12 時 10 分 (第 2 回) 計 10 コマ

2 組織

役職名	職名
顧問	学校長
委員長	PTA 会長
副委員長	教頭先生
副委員長	PTA 副会長
会計	PTA 会計
委員	体育主任、養護教諭、PTA 体育委員長、PTA 体育副委員長、PTA 市 P 担当、PTA 市 P 副担当、PTA 書記
保護者監視委員	有志 65 人 (H27 年度 40 人)

※別途、専属監視員を警備会社に依頼

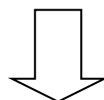
3 参加状況

時間	8/1(月)	8/2(火)	8/3(水)	8/4(木)	8/5(金)	計
A コマ (9:35~10:30)	80(71)	80(60)	80(79)	73(68)	80(63)	393(341)
B コマ (11:15~12:10)	44(29)	64(42)	39(37)	41(59)	51(41)	239(208)
	124(100)	144(102)	119(116)	114(127)	131(104)	632(549)

※ () は 27 年度参加人数

4 課題・反省

- ・最大定員の 80 人に達したコマが 4 コマ (いずれも午前中) あり、遊泳を断らざるを得なかった。
- ・先着順のため A コマで遊泳をお断りした噂が先行し、B コマで 1 時間以上前から並ぶ児童も。
- ・1・2 年生の小プールが 30 人近くになることもあり、他の子どもの頭がぶつかって鼻血を出すなど、怪我や鼻血、のぼせなど 10 件発生。
- ・プールカードの記入不備 5 件。



来年度の参考とするためにアンケートを実施!

平成 28 年 9 月 1 日

飽田東小学校 PTA 会員 各位

飽田東小学校 PTA
会 長 永野 勝禄
校 長 古川 公雄

プール開放運営方法についてのアンケートのお願い

日頃より PTA 活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、本年度のプール開放につきましては、多くの保護者様のご協力のおかげで大きな事故もなく終えることができました。たくさんの子供たちの笑顔に触れ、開催した甲斐があったと感じております。

一方、震災の影響で近隣のプール施設が使えないためか、連日定員の 80 人に達し、特に小プールでは混雑で、鼻血や唇を切るなどの怪我が発生しました。また、先着順としていたため、1 時間以上も前から並ぶ児童もいて熱中症などの心配もありました。

このような背景も踏まえ、今後どのようにすれば、よりよく運営できるか皆様のご意見を賜りたいと存じます。お手数ですが、9 月 16 日(金)迄にアンケートにご記入いただき、担任の先生へお渡しください。

何卒、ご理解の程よろしくお願い致します。

.....キ.....リ.....ト.....リ.....
飽田東小学校 PTA

<プール開放運営方法についてのアンケート>

○で囲んでお答えください。

Q1. 来年度もお子様をプール開放に参加させますか (予定含む) ?

①はい / ②いいえ

Q2. 保護者監視員についてどう思われますか?

①参加する / ②参加してもよい / ③できれば参加したくない / ④参加できない

Q3. プール開放の 1 日のコマ数について (現在 1 日 2 コマ) ※①は 1 日のコマ数もお答えください。

①増やした方がよい (1 日 コマ) / ②このままでよい / ③減らした方がよい

Q4. プール開放の日数について (現在 5 日間) ※①③はトータル日数もお答えください。

①増やした方がよい (日間) / ②このままでよい / ③減らした方がよい (日間)

Q5. お子様の参加方法について (80 人を越えないための対策として)

①現在の自由参加型でよい / ②何らかの制限を設けた方がよい

Q6. Q5 で「何らかの制限を設けた方がよい」とお答えいただいた方に伺います。

どのような方法がよいと思われますか?

①学年ごとに参加できるコマを設定する / ②地区ごとに参加できるコマを設定する

③その他

Q7. その他、お気づきになった点がございましたらご記入ください。

※ご協力ありがとうございました。来年度の参考にさせていただきます。

アンケート回答数

240人

Q1.来年度もお子様をプール開放に参加させますか(予定含む)

①はい	147人
②いいえ	88人
回答無し	5人
合計	240人

Q2.保護者監視員についてどう思われますか？

①参加する	15人	} 92人
②参加してもよい	77人	
③できれば参加したくない	50人	} 142人
④参加できない	92人	
回答無し	6人	
合計	240人	

Q3.プール開放の1日のコマ数について(現在1日2コマ)

①増やした方がよい	34人	} 34人
3コマ	23人	
4コマ	6人	
3~4コマ	2人	
回答無し	3人	
②このままでよい	187人	
③減らした方がよい	4人	
回答無し	15人	
合計	240人	

Q4.プール開放の日数について(現在5日間)

①増やした方がよい	75人	} 75人
7日間	6人	
8日間	1人	
7~8日間	1人	
10日間	53人	
14日間	3人	
15日間	1人	
20日間	1人	
30日間	1人	
回答無し	8人	
②このままでよい	149人	
③減らした方がよい	1人	
4日間	1人	
回答無し	15人	
合計	240人	

Q5.お子様の参加方法について(80人を越えないための対策として)

①現在の自由参加型でよい	110人
②何らかの制限を設けた方がよい	120人
回答無し	10人
合計	240人

Q6.Q5で「何らかの制限を設けた方がよい」とお答えいただいた方に伺います。

どのような方法がよいと思われますか？

①学年ごとに参加できるコマを設定する	75人
②地区ごとに参加できるコマを設定する	28人
③その他	12人
①②の併用	6人
合計	121人

Q6 その他の意見

- ・保護者の監視ができる方だけの利用を許可する。
- ・兄弟で行くので学年で分けたら別々になるので行き帰りが一人になる。
- ・コマ数が増えれば、1回の人数は減るのでは。
- ・事前に参加申し込みを募り、日にち指定にすることで均等に振り分ける。
- ・学年毎のほうが泳ぎの行動も一定して危なくないのでは。
- ・小プールが満杯だったのもう少しのびのび遊ばせてほしい。
- ・例えば、午前中が1・3・5年、午後が2・4・6年など。
- ・昨年と今年度の利用が多い学年と少ない学年を合わせて2学年ずつにする。
- ・子どもだけで行かせるのが心配なので、できたら登校班で参加できれば安心。
- ・2日連続で入れないようにする。
- ・高学年は動きが激しいので学年でわかる。
- ・1～6年で80人ではなく、プールごとに人数を制限する。
- ・男女分ける。
- ・部活が午前中にあるので、午前中を低学年・午後が高学年にする。
- ・日数を2週間にして、1週目を学年ごと、2週目を地区ごとにわかる。
- ・1日1コマ(10時～16時など)にして保護者監視員を2時間交代。
- ・前もって必ず入れる整理券を配布する。
- ・育成の子どもは1コマ目なら親の出勤時間に合わせられるが2コマ目なら難しい。
 - 育成の人数が関係して1コマ目が多くなったのでは。
 - 保険の問題があるとは思いますが育成の間にプールに行けるようにできないのか。
- ・保護者の負担を考えると5日以上は難しいと思うので監視員を委託者だけにして委託者が監視できる人数だけ利用できるようにすれば。委託するのにお金がかかるなら利用者は負担してもいいと思う。

Q7 その他、気づいた点

- ・泳ぎの練習をしたい子どものために1コースでいいので練習コースを作ってほしい。
- ・プールの外で待ったとき、屋根や日影があれば辛くないと思う。
- ・忘れ物が多かったので記名を徹底させる。
- ・学年別で水泳帽の色を変えたほうが監視をしやすい。(特に低学年)
- ・近隣プールが使用できなかったので開放されてよかった。
 - 来年から再開すれば高学年はそちらを利用すると思う。
- ・水泳教室(有料でもよい)があれば参加させたい。
- ・監視員の確保のため、1日は必ず参加してもらおう。
- ・プールに行っても人数制限で入れず帰ってきた。
- ・朝早くから並ぶ子がいたので並ぶ時間を考えてほしい。
 - 炎天下の中待っているのは危険。何かあったら責任とれないのでは。(今後に関わる)
- ・男性監視員が増えるといい。女性だけでは頼りない気がする。
- ・定員オーバーで兄弟の弟だけ入れなく不安だった。
- ・2年生。小さいプールが多すぎて楽しくなかったと言っていた。
- ・プール開放は継続して毎年行ってほしい。
- ・待っている間、車の通る道でサッカーをしたり、走り回る子供がいてひやひやした。
- ・講習を受けなくて、ただの監視ならしてもよいという人が増えるのでは？
- ・プール開放の日程を地区のラジオ体操日程と合わせると「早起き」→「プール」→「宿題」とよいリズムができるのでは？(夏休み1週目等)
- ・開放日程が早目にわかるとうれしいです。(家族の都合もあるので)

Q2保護者監視員について

- ・下の子が小さいのでできない
- ・卒業して小学校にこどもがいなくなるのでできない

平成 28 年度 プール開放後 課題事項

① 準備備品

長机 (4 台)、イス (保護者監視員 + α)、★ビーチパラソル (破損あり)、
★ボックスティッシュ、保冷剤、★紙コップ (具合の悪い子用)、★ゴミ袋、カウンター (人数把握)、
★トイレ掃除用具 (学校に確認)、非常用の携帯電話 (学校に確認)、ゴムスリッパ (学校に確認)
※★は不足していたので今後購入または学校に確認しておいた方がいいもの

② 下駄箱の識別：学年別に用意する。→ 今後も継続を！
帰り際に履物の間違いなどないように声掛けする。

③ プールカードの保護者印鑑、水泳帽子等忘れの周知徹底。自分の持ち物には必ず記名するように。
※プールカードの保護者印鑑・記入漏れ(不備 5 件)は監視リーダーから保護者に直接確認した

④ 用具倉庫の床がすべりやすい。→ ビート板を事前に出しておく (途中から誠心警備がやってくれた)

⑤ 水分補給 (水筒等) の持参。
育成の子が育成に忘れるケースも

☆入場前の並ばせ方を考える。→ 整列させるためのコーンを準備した

- ・コマとコマの入れ替り時が混雑 (コマとコマの間隔の検討も)
- ・80 人定員近くなると自転車がなくて並べなくなることも (場所を東門近くに確保できないか?)
- ・ミーティングとバッティングするので監視員と別に整列係が必要 (前のコマの監視リーダー?)
- ・先着順のため長時間並ぶ子供も… (うまく分散し、定員に達しないような運営の検討を!)

☆プールカードについて

- ・プールカードの不備の確認は最初に預かる時に厳重にチェックを！
→ カードチェック後は人数把握し易いように 10 人毎に分けておく
- ・カードがケースから取り出しにくく出欠確認の印鑑が押しづらい
→ 印鑑の代わりにシールで対応
- ・印鑑 (シール) を押すタイミング
→ 入場後、各学年の人数確認後、シール貼り。
- ・学年別色分けは、色画用紙で分かりやすくする。
→ わかりやすかったので来年も予算確保して継続しては?
- ・帰りのカード返却時には名前を確認して間違えないようにする。
→ 弟・友達の分でも持っていかないようにする。
→ 声かけで取り忘れがないように

☆パラソル・クーラーボックスについて

- ・クーラーボックス(体育委員)は大きすぎたので来期は小さいものを準備しては?
- ・パラソルは予算の問題もあり保留。各自、大き目の日傘など持って来てもらうよう依頼

☆怪我対策 (唇の怪我 2 件、鼻血 5 件、その他 3 件)

・混雑による怪我やのぼせ等による怪我、水底の小石による怪我が発生。混雑対策と薬箱やティッシュやガーゼなどの備品の充実も。

☆学年毎に帽子の色を変えられないか?

- ・帽子の色が同じなので小プール対象児童かどうかの区別がつかない (学校に相談)

